

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	TAKUMI練馬武蔵関		
○保護者評価実施期間	2024年12月1日		～ 2024年12月29日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	30	(回答者数) 25
○従業者評価実施期間	2025年 1月 15日		～ 2025年 1月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 2月 1日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	支援計画に基づいた手厚い支援が行われている	従業員ひとりひとりの個性を活かしているのでプログラムが豊富 子ども同士が関われる時間や一人一人に合ったプログラムの設定	1日2回行っているミーティングで、プログラムを説明をしながら再確認し、一人一人のお子様にどうアプローチしていくのか、話し合いの場を設けよりよい支援を行っていく
2	子どもたちの多学年との交流がある	教室全体で、利用者の方の来所前、来所後、1日2回のミーティングを実施し職員間の情報共有をしている 毎日、清掃をし気持ちよくお子様を迎えている お子様の特性に合わせた環境設定をしている	清潔な空間づくりに努めていく 常に創作物や運動の器具等の確認、補充をしながら清潔で安全な環境作りをしている
3	プログラムが充実しており一人一人に合った支援プログラムを作成している	親御様へのフィードバック時に本日の活動内容とお子様の様子や気付いたことをお伝えし、ご家庭とTAKUMIでお子様の成長を見守れるよう努めている 親御様が話しやすい環境を整え、できるだけご家庭や園での様子も把握するようにしている	引き続き親御様と連携を測りながら支援を進めていく 職員全員で個別支援計画に取り組み、一人一人にあった(発達段階に合わせた)支援を考え提供していく

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	職員の人数の充実度	職員数(基準人員+加配職員で取り組んでいるため)	会社と相談し今後検討していく
2	保育所や認定こども園、幼稚園との交流がない	現時点で取り組みは行ったことはない	親御様があくまでもTAKUMIでの療育を望んでおり交流の要望がない 今後、要望があった際に検討していく
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	TAKUMI練馬武蔵関
------	-------------

公表日 令和 7年 2月 21日

利用児童数 30

回収数 25

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	22	2	1		運廊スペースがしっかりしている 適切な人数でクラス分けがされており、人数に対して広さは丁度いい 広すぎても大変だと思う	貴重なご意見ありがとうございます。今後適切な人数で療育に努めます
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	24	2			一人一人に目が行き届いている お迎え、フィードバック時の子どもたちの見守り 1番強いクラスだから利用人数に対して、とても手厚い配置だと思う	今後も適切な職員の配置人数で療育に努めます
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	22	2		1	子どもが見て分かりやすい トイレ前が放デイの創作スペースのためトイレ内でのトラブルに気づきにくいのでは 子どもが使用する場所は段差はなく落ち着く別室もあり良いと思う	来年度は、クール時間が被らない時間設定となりますのでトイレ前のスペースは確保します。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	21	3			出口のところが少し狭い 活動内容に合わせて良く配置されている 靴箱とロッカー配置がフィードバック時子どもの動線にかかっているため靴箱の移動を希望 通所している本人が楽しく通っているので問題ないと思う	出口は、親御様にできるだけ中に入れていただくように配慮をお願いします 靴箱に関しては検討していきます
適切な支援の提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	23	2			子どもに合わせた声かけなどしてもらっている で安心 通っていて家庭内で成長が見られるので受けられていると思う	貴重なご意見ありがとうございます。今後も一人一人に合わせた療育に努めていきます
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	22	1		2	良く取りまわっている 丁寧に子どもを指導していると思う	全ての利用者の方にご理解いただけるよう支援プログラムと支援内容の説明をしていく
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	24	1			親身になって計画書を寄り添って作成してくれている 初回と電話で計画作成していただいた たくさんある願いの中でかいつまんで作成していただいた	貴重なご意見ありがとうございます。今後もお子様のTAKUMIでの様子はもちろんですが、親御様を通して家や園での様子を把握し、背景を想像しながら職員間で話し合い個別支援計画を作成していきます
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	21	3		1	いつもとても分かりやすく説明している 家族支援、移行支援の内容がやや不明 子どもに良い傾向が見られるので実際に支援も実行していると思う	全ての利用者様にご理解いただけるよう再度説明していきます
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	22	3			良い支援をいただいている 子どもに良い傾向がみられるので実際に支援も実行していると思う	貴重なご意見ありがとうございます。今後もよりよい支援が提供できるよう努めてまいります
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	22	2		1	色々な季節のイベントを盛り込まれて、子どもも楽しんでいる フィードバックで「○○をした」というのに重なっていた日はなかったと思う。あったとしても本人が楽しく通えればそれでいい	貴重なご意見ありがとうございます。今後も支援計画に沿った支援を提供できるよう努めていきます
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	7	1	6	11	子どもの通っている園との交流はあるが他はよくわからない まだどこも所属していないので分からないが創作時間の時に年上の子どもとの活動を見たことがある	
保護	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	24	1			ある 充分な説明があった	引き続き全ての利用者様にご理解いただけるよう努めていきます
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	25				1ページごとに丁寧な説明で納得している	引き続き丁寧な説明をしていきます
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	10	8	2	5	面談等あった 通所してから数か月しかたっていないが、まだそういった堅いものは伝えられていない。当日のフィードバックで発生してこちらが質問した時のみ	
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができてきていると思いますか。	24	1			フィードバックもあり、とても参考になった 一人一人の保護者にフィードバックをしてもらい体調が鼻水なども本調子でない時も丁寧に聞かれている	引き続きフィードバックや面談にて利用者様と共通理解が出来るよう努める
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	23	2			面談や声掛けいただいで相談のつてもらっている 助言というよりも「○○できた」などの前向きなお話なのでこうしたらいいなどの話はありません。面談は今のところない	定期的に面談を行っております。引き続き、親御様が話しやすい環境を整えていきます。

者への説明等	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	23	1		1	一緒に考えていただいている 基本的に良い点の所を口頭で伝えてくれるので、 割と安心して支援してもらっていると感じている	貴重なご意見ありがとうございます。引き続きより よい療育が提供できるよう努めていきます	
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	1	5	7	12	今のところない。でも、親や兄弟の予定を合わせたりするのが難しい時もあるのですが、スタッフの方々の雰囲気の話しかけやすそうなので何かあれば聞けそう		
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	21	3			1	早急に対応いただいている 今のところ相談や申し入れがない（事業所へ当方が相談することがない）のだが、スタッフの方々の雰囲気が話しかけやすそうなので何かあれば聞けそう	貴重なご意見ありがとうございます。引き続き迅速 に対応していきます。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	22	2			1	他の保護者のフィードバック時は一定の距離で離れているし簡潔に話してもらっている	
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	18	2			5	ホームページよりLINEで発信されているので目にとまりやすい。確認しやすい	
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	25					バインダーに名前が書かれている。取り間違いが防げるので現状のままがいいと思う	
	非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	21				4	先月、防犯マニュアルをしていた 契約時の書類で説明を受けている
24		事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	18	2			2	先月、防犯マニュアルをしていた 契約時の書類で説明を受けている	契約時、避難委訓練の事前、事後に伝えております が、改めて伝えていきます
25		事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	22				3	先月、防犯マニュアルをしていた 契約時の書類で説明を受けている	引き続き、伝えていきます
26		事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	23	1			1	まだ、そういったケースを体験していないため まだ大きい事故やケガはないが、そもそもトラブル が起きそうな時に声掛けをしているのを見たこと があるのでスタッフの方々も気を配っていると思 う	引き続き事故がない安全な療育が出来るよう努めて いきます
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	25					頭を打った、ぶつけた等は、大したことがなくて も教えていただければ助かる	貴重なご意見ありがとうございます。引き続き安 心、安全な療育に努めていきます
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	25					初めの通所時から笑顔で子どもに慣れている対応 をしていただき、子どもも疲れきるまで楽しんで いる。いつもありがとうございます。	
	29	事業所の支援に満足していますか。	25					支援によって親子共々助かっている 家や公園では学べない経験。出来ないことを教 わっていると私は思う。TAKUMIを通して意思表 示の声掛けを習得したことが、大きく成長してい ると実感しており、家族も「療育ってすごい！」 と言っている。これからも継続的に通って本人が 生きていく上での社会のルール、対人関係を築く 上での学びに繋がってほしいと思っている	引き続き個別支援計画に沿った支援が提供できるよ う努めていきます

公表 事業所における自己評価結果

事業所名		TAKUMI練馬武蔵関				公表日	2025年 2月 1日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6					
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	3	3		職員に欠員が出た際、教室以内でフォローが出来ない		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	2				
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6					
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6					
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	6					
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6					
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6					
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	2				
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5	1	昨年から会社全体の研修をするようになった			
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6					
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	6					
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6					
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6					
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6					
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6					
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6		創作等都度話し合っている			
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6					

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	6			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6			
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6			
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6			
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5	1		
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	2		
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4	2		
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4	2	申し送りを行っている 就学支援シートを記入している	
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)				
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。		6		
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	1	5		
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5	1		
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	3		
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6			
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6			
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	6			

保護者への説明等	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6			
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	2	4		
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6			
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	5	1		
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6			
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5	1		
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6			
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6			
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	6			
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	1	食べ物の提供はしていない	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6			
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6			
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6			
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6			
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	6			

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	TAKUMI練馬武蔵関		
○保護者評価実施期間	2024年 12月 1日		～ 2024年 12月 29日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	45	(回答者数) 18
○従業者評価実施期間	2025年 1月 15日		～ 2025年 1月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 1月 31日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	プログラムが充実している 学校体育の中で一人一人に合わせて出来ることを増やしている	同じ種目でも一人一人に合わせた療育を行ないご本人の自信につながるよう支援している 子ども同士が関われる時間やプログラムの設定	指導員一人一人が支援計画の見直しに取り組んでいる アプローチの仕方の話し合いをする場を増やす
2	従業員のこれまでの経歴などを活かした支援内容 子どもの対応について職員同士で意見を出し合える	競争だけではなく協力する心を養う運動 「ありがとう」「ごめんなさい」等相手に伝えられるよう都度指導員が伝えている(挨拶を大切にしている)	職員が楽しく仕事ができるよう今後もそれぞれのやり方を認め合いながら支援にいかしていく
3	メリハリや状況理解の促し	ひとりひとりに合わせた声掛けをしながら最終的に自ら気付けるように支援している	引き続き職員もメリハリをつけていく

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域との交流の場がない	現時点でその様な取り組みは行ったことがない	親御様からの要望があれば今後検討していく
2	人数の充実度	職員数(基準人員+加配職員で取り組んでいるため)	職員数の増加
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 TAKUMI練馬武蔵関

公表日 令和 7年 2月 21日

利用児童数 45

回収数 18

	チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	14	4				引き続き活動スペースが十分に確保されるようクラス編成等検討していく
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	17	1				今後も適切な職員配置で行っていく
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	18					
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	18					引き続き心地よい生活空間にしてい
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	17	1				よりよい支援を提供できるよう努める
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	15	1		2		改めて支援内容について検討していく
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	17	1				引き続きよりよい個別支援計画、療育が提供できるよう努める
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	17			1		今後も放課後等デイサービスのガイドラインに沿って具体的な支援内容を設定していく
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	18					今後もよりよい支援が提供できるよう努める
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	14	3		1	子どもから何をしたら聞けず分からないことがある	プログラムを工夫しながら提供していく
保 護 者 へ の 説 明 等	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	22	3	10	5	必要ないので今のままでよい	要検討
	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	17	1				引き続き丁寧な説明をしていく
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	16					今後も丁寧な説明をしていく
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	2	5	6	5	なくて大丈夫	要検討
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	16	2				全ての利用者の方との共通理解が出来るよう努める
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	17	1				今後も面談等を行いながら親御様の気持ちに寄り添い、サポートが出来るよう努める
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	16	1		1		引き続きすべての利用者の方に共感的な支援を行っていく
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。		3		9	6	・子どもへのサポート、保護者対応はしっかりしていただいているので、ここまでのサポートは求めてない。

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	16			1		引き続き利用者の方に周知、説明をし、相談があった際には迅速に対応していく
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	16	1				引き続き配慮していく
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	14		1	2		引き続き連絡体制等を整えていく
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	16			1		引き続き個人情報の取り扱いに留意していく
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	15			2		全ての利用者の方に周知できるよう繰り返し伝えていく
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	14	1		2		避難訓練の際（事前、事後）に利用者の方に伝えているが、改めて周知できるよう努める
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	17					今後もより安全に提供していく
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	16			1	事故が起きたことがない	事故がなく療育が提供できるよう努めていく。事故が起きてしまった際には親御様に速やかに連絡、説明をし迅速に対応していく
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	16			1		全ての利用者の方に安心感を持って通所してもらえよう努める
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	15	2				引き続き利用者の方に通所を楽しみにしてもらえよう努める
	29	事業所の支援に満足していますか。	16	1				引き続きよりよい療育が提供できるよう努める

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日			
TAKUMI練馬武蔵関		令和 7年 2月 21日			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	1		放デイに関しては少し狭いかもしれない
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	3	3		人員を増やすことで安全性を確保できるし個別対応しやすくなる
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	2		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6			
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6			
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6			
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6			
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6			
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	2		
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5	1	昨年からの研修をするようになった	
適切な支援	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6			
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6			
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6			
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6			
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6			
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6			
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6			

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6			
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6			
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6			
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	6			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定する力を育てるための支援を行っているか。	6			
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5	1		
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	2		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	3	3		
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	6			
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	2	4		
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。		6		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		6		
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。		6		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6			
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	3			
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6			

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6			
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	2	4		
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5	1		
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6			
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5	1		
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6			
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6			
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	1	食べ物の提供はしていない	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6			
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6			
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6			
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6				